

◆セルフトレーニング問題2018◆

■ 問題 ■

問題 1 「改正個人情報保護法」について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 経済協力開発機構（OECD）8原則と対応がとられている。
- (b) 病歴も「要配慮個人情報」である。
- (c) 個人情報の取扱いルールは、国の機関や地方自治体の法的対応にも適用される。
- (d) 個人情報を取り扱う対象業者は小規模な事業者も含めてすべての業者に適用される。
- (e) 人の生命、身体または財産の保護に必要な場合で、本人の同意が困難な時には、本人の同意無く個人情報を提供できる。

問題 2 54歳の男性。健診時の血圧が164/102mmHg（1回目）、166/104mmHg（2回目）であった。心電図上、左室肥大が疑われ、蛋白尿陽性、眼底検査で高血圧性変化が認められた。二次性高血圧は否定されている。健診後の保健指導時に高血圧に対する生活習慣の修正について指導した。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (a) 1年後の健診により経過観察を行う。
- (b) 直ちに降圧薬治療。
- (c) 1ヵ月後の血圧が140/90mmHg以上ならば降圧薬治療。
- (d) 3ヵ月後の血圧が140/90mmHg以上ならば降圧薬治療。
- (e) 6ヵ月後の血圧が140/90mmHg以上ならば降圧薬治療。

問題 3 関節リウマチで、関節炎を生じることが稀な部位はどれか。1つ選べ。

- (a) 遠位指節間（distal interphalangeal joint: DIP）関節
- (b) 近位指節間（proximal interphalangeal joint: PIP）関節
- (c) 中手指節（metacarpophalangeal joint: MCP, MP）関節
- (d) 手関節
- (e) 肘関節

問題 4 日本整形外科学会等が提唱するロコモティブシンドロームの7つの自己チェックに含まれるのはどれか。2つ選べ。

- (a) 片脚立ちで靴下がはけない。
- (b) 10分くらい続けて歩けない。
- (c) 家の中でつまずいたり滑ったりする。
- (d) 階段を降りるのに手すりが必要である。
- (e) 1kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である。

問題 5 2001年に発表された慢性閉塞性肺疾患（COPD）の大規模な疫学調査研究 NICE study: Nippon COPD Epidemiology study について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) NICE study によると、日本人の40歳以上の男女の罹患比率は同等であった。
- (b) 世界各国の COPD の有病率は今後増加傾向が予想されている。
- (c) COPD は日本において2016年の男性死因順位の第10位に位置している。
- (d) NICE study によると、40歳以上の日本人の約530万人がCOPDに罹患していると考えられる。
- (e) NICE study によると、気流閉塞が認められた被験者の中で、すでに COPD と診断されていたのは約50%であった。

問題 6 腎実質内の高エコー病変の鑑別診断として誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 出血性皮質嚢胞
- (b) 腎杯憩室
- (c) 陳旧性腎結核
- (d) 痛風腎
- (e) 胎児性分葉腎

問題 7 骨粗鬆症のリスク因子として誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 肥満
- (b) 喫煙
- (c) 運動不足
- (d) 日照時間の曝露不足
- (e) 副腎皮質ステロイドの内服

問題 8 メタボリックシンドローム改善のための身体活動について正しいのはどれか。1つ選べ。

- (a) 運動強度が高い場合、短時間でも減量効果大きい。
- (b) 家事程度の身体活動でも長時間であれば減量効果はある。
- (c) 身体活動の増加は副作用や悪影響がない安全な介入方法である。
- (d) BMI が $30\text{kg}/\text{m}^2$ を超える肥満者には身体活動増加による減量は勧められない。
- (e) メタボリックシンドロームは身体活動を増加させるだけでは改善できない。

問題 9 意義不明の単クローン性ガンマグロブリン血症（MGUS）について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 血清中に M 蛋白を $3\text{g}/\text{dL}$ 以上認める。
- (b) 骨髄腫に移行することがある。
- (c) 正常免疫グロブリンが抑制されていることがある。
- (d) ベンス・ジョーンズ蛋白が増加することがある。
- (e) 骨打ち抜き像（punched-out lesion）を認めることがある。

問題10 甲状腺がんで上昇しないのはどれか。2つ選べ。

- (a) CEA
- (b) PSA
- (c) カルシトニン
- (d) エラスターゼ1
- (e) サイログロブリン

問題11 原発性アルドステロン症 (PA) について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 局所診断には副腎静脈サンプリングが有用である。
- (b) 機能確認検査ではカプトプリル負荷試験が簡便である。
- (c) PA の頻度は全高血圧患者の約1%である。
- (d) PA の診断には低カリウム血症は必須である。
- (e) 血漿アルドステロン濃度 (pg/mL) / 血漿レニン活性 (PRA) 比の500以上がスクリーニングの目安である。

問題12 人間ドック健診での眼科関連の基本 (基準) 検査項目でないのはどれか。2つ選べ。

- (a) 視力
- (b) 眼圧
- (c) 眼位
- (d) 視野
- (e) 眼底

問題13 画像上、脳溝拡大 (大脳萎縮) がみられにくいのはどれか。1つ選べ。

- (a) 正常老化
- (b) 慢性腎不全
- (c) アルコール依存症
- (d) 特発性正常圧水頭症
- (e) アルツハイマー型認知症

問題14 68歳女性の人間ドック健診受診者。約3週間前から37℃台後半の発熱、両側肩から頸部の痛みとこわばり、四肢近位部の筋肉痛、不眠を訴えた。診察所見では、関節腫脹、筋力低下を認めなかったが、両側上腕に圧痛があった。検査所見で、血清リウマトイド因子は陰性、CRPが10.2mg/dLと高値であった。本症例に対する結果説明として適切なものはどれか。1つ選べ。

- (a) 関節リウマチが考えられるので、リウマチ専門医を受診して、メトトレキサート (MTX) による治療となることを説明した。
- (b) 関節リウマチが考えられ、高疾患活動性のため、生物学的製剤による治療を勧めた。
- (c) リウマチ性多発筋痛症が考えられるが、自然治癒の場合もあるので、自宅で安静にすることを説明した。
- (d) リウマチ性多発性筋痛症が考えられるので、リウマチ専門医を受診して、プレドニゾロン (PSL) による治療となることを説明した。
- (e) リウマチ性多発筋痛症が考えられるので、リウマチ専門医を受診して、非ステロイド系抗炎症剤による治療となることを説明した。

問題15 副腎偶発腫が診断の端緒となる率が高いのはどれか。2つ選べ。

- (a) 原発性アルドステロン症
- (b) 非機能性腺腫
- (c) サブクリニカルクッシング症候群
- (d) クッシング症候群
- (e) 褐色細胞腫

問題16 胆嚢の手術について正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 胆嚢ポリープが10mm以上で増大傾向を認める場合、または、大きさにかかわらず広基性の場合、胆嚢摘出術が推奨される。
- (b) 胆嚢のコレステロールポリープは、5個以上多発しているときは胆嚢摘出術が推奨される。
- (c) 胆嚢結石は、年間1-2%で胆嚢癌発生のリスクがあり、胆嚢摘出術が勧められる。
- (d) 胆管拡張型の膵・胆管合流異常では、標準的治療は予防的胆嚢摘出と肝外胆管切除術である。
- (e) 胆嚢摘出後は、消化吸収が低下し、軟便下痢を生じると考えられている。

問題17 がん検診としての有効性（死亡率減少効果）が確認されていない検査方法はどれか。2つ選べ。

- (a) マンモグラフィ
- (b) 便潜血検査
- (c) 胸部CT検査
- (d) 子宮頸部細胞診
- (e) 腹部超音波検査

問題18 56歳男性，会社員，非喫煙者．人間ドック健診の受診は初回である．定期健康診断では3年前より高血圧を指摘されていた．身長163cm，体重72kg，BMI 27.1kg/m²，腹囲87.5cm．収縮期血圧146/92mmHg，脈拍72回／分，空腹時血糖112mg/dL，HbA1c 6.1%（NGSP値），LDL-C 148mg/dL，HDL-C 48mg/dL，中性脂肪162mg/dL．この受診者の高血圧管理計画について正しいのはどれか．1つ選べ．

- (a) 低リスクとして6ヵ月の生活習慣の修正を指導する．6ヵ月後の血圧が140/90以上であれば降圧薬治療．
- (b) 低リスクとして3ヵ月の生活習慣の修正を指導する．3ヵ月後の血圧が140/90以上であれば降圧薬治療．
- (c) 中等リスクとして3ヵ月の生活習慣の修正を指導する．3ヵ月後の血圧が140/90以上であれば降圧薬治療．
- (d) 中等リスクとして1ヵ月の生活習慣の修正を指導する．1ヵ月後の血圧が140/90以上であれば降圧薬治療．
- (e) 高リスクとして生活習慣の修正を指導するとともに，直ちに降圧薬治療．

問題19 スポーツ選手の貧血の原因として，考えにくいものはどれか．2つ選べ．

- (a) 鉄欠乏
- (b) 溶血
- (c) 葉酸欠乏
- (d) ビタミンB₁₂欠乏
- (e) 亜鉛欠乏

問題20 アスベスト関連疾患について正しいのはどれか．1つ選べ．

- (a) 中皮腫は上皮型と肉腫型が約半々である．
- (b) 中皮腫はアスベスト初回曝露から10年程度で発生する．
- (c) 中皮腫の一部に良性のものが存在する．
- (d) アスベスト肺は他の塵肺と比べて予後が悪い．
- (e) アスベスト肺はアスベスト低濃度曝露によって発生する塵肺である．

問題21 脳卒中リスクについて誤っているのはどれか．2つ選べ．

- (a) 禁煙をしても脳卒中の発症リスクは低下しない．
- (b) メタボリックシンドロームは脳卒中の危険因子ではない．
- (c) 喫煙は脳梗塞，くも膜下出血の危険因子である．
- (d) 脳出血，くも膜下出血の発症率と飲酒量との間には正の相関関係がある．
- (e) 少量ないし中等量の飲酒にて脳梗塞の発症率は非飲酒者と比べて低くなる．

問題22 3つの疾患の罹患率(10万人対)を喫煙群・非喫煙群に分けて調査したところ、疾患Aでは喫煙群75・非喫煙群10、疾患Bでは喫煙群3,000・非喫煙群1,000、疾患Cでは喫煙群6,000・非喫煙群5,000であった。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (a) 喫煙が発病に最も強く関連しているのは疾患Aである。
- (b) 喫煙が発病に最も強く関連しているのは疾患Bである。
- (c) 喫煙が発病に最も強く関連しているのは疾患Cである。
- (d) 禁煙により罹患率の減少が最も期待されるのは疾患Aである。
- (e) 禁煙により罹患率の減少が最も期待されるのは疾患Bである。

問題23 逆流性食道炎について誤っているのはどれか。2つ選べ。

- (a) ヘリコバクター・ピロリ感染者の方が、逆流性食道炎が起こりやすい。
- (b) 滑脱型の食道裂孔ヘルニアは、逆流性食道炎が起こりやすくなる。
- (c) ロサンゼルス分類ではグレードAがグレードB、Cより多い。
- (d) 加齢、肥満、過食などが関与して食道下部括約筋が緊張することがその機序である。
- (e) 逆流性食道炎の重症度を内視鏡的に分類するのがロサンゼルス分類である。

問題24 大動脈弁狭窄症の治療について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) AVR (aortic valve replacement) が第1選択である。
- (b) 症候性症例に対するAVRは症状、生命予後を改善する。
- (c) PTAC (percutaneous transluminal aortic commissurotomy) は救命処置としての選択がある。
- (d) ハイリスク症例におけるTAVR (transcatheter aortic valve replacement) はAVRの成績より不良である。
- (e) PTACの長期予後はAVRより悪い。

問題25 41歳男性の胸部単純 CT 像（下図）で、疑われる疾患や病態はどれか。2つ選べ。

- (a) 肺結核
- (b) 肺気腫
- (c) 両側胸水貯留
- (d) 間質性肺炎
- (e) 重力効果による濃度上昇

